

研究機関：広島大学

研究課題名	胃癌リスク評価に資する抗体法適正化に関する多施設研究
研究責任者名	病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2018年10月18日～2019年12月31日
対象者	2000年1月1日から2018年6月30日の間に、共同研究機関（広島大学を除く全国8施設）にて、胃炎と診断され、ピロリ菌検査（血清抗体法）を受けた患者。
意義・目的	ヘリコバクターピロリ抗体とペプシノゲン値を用いて胃がんリスクを評価するABC分類が普及しています。A群はピロリ菌未感染者を想定した胃がん低危険群とされていますが、その中に胃がん高危険群が混入することがわかり、この分類には重大な問題があることがわかってきました。そこで本研究では、血液中のピロリ抗体価の測定値を細かく解析することで、胃癌リスクのないピロリ菌未感染者を確実に診断できるかどうかを確認するために計画されました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を用いて行います。カルテから転記する内容は内視鏡所見と性別、年齢、ヘリコバクターピロリ抗体価、他のヘリコバクターピロリ感染診断結果などです。（個人が特定出来る情報は転記しません）。本研究は、日本ヘリコバクター学会が企画、実施する多施設共同研究で、国内9の医療機関と共同で研究します。（日本ヘリコバクター学会事務局に情報を集め、東京医科大学、広島大学で解析します。） （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	東京医科大学、青山内科クリニック、淳風会健康管理センター、愛知医科大学医学部、弘前大学消化器内科、浜松医科大学附属病院、大分大学医学部、乾内科クリニック 東京医科大学（研究責任者 河合 隆 医師）、広島大学（研究責任者 田中信治 医師）が解析します。
試料・情報の管理責任者	日本ヘリコバクター学会理事、東京医科大学消化器内視鏡学主任教授 河合 隆
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5191 広島大学病院 消化器・代謝診療科 診療教授 伊藤 公訓